

# 歩いてつなぐ、KAIWAI賑やか紙

ある朝、新聞の折り込みチラシを見ていた夫が言いました。まるで、ナスかキユウリを買うような気楽さで、唐突に。マンションの外観のデザインが気に入ったという理由だけで。

こうして空堀の東の端っこに、住むことになつたのです。が、基礎工事の最中に遺跡が見つかり、発掘調査をしなければならなくなつたので、半年ほど完成が延びると工事会社から連絡がありました。

この辺りは難波宮の南にあたり、掘れば、飛鳥時代の集落や秀吉の大坂城内の遺構が見つかること。なんだかスゴイところに住むことになつたなあ、と

思つたのですが、本当にスゴイものは土の中に埋まつてゐる歴史ではなく、地上にライブで存在しました。

空堀商店街へ買い物がてらにぶらぶら歩けば、うだつの上がつたお宅、二階の外壁に緑色の銅板を張つた商店、四つ角には角を面取りした一風変わつた家。歳月を経て、いい味わいになつた民家がまち中にモザイクのように散らばつています。前から眺めれば2階建なのに、裏に回れば3階建は、坂の多い空堀の地形ならではのトリック。

石畳の坂やレンガの階段を上り、飽きることがあります。草は、飽きることあります。

古いもの、懐かしいものがどんどん壊されていくのは、切ないです。一度失われてしまつたものをふたたび甦らせるのは、ほんとうに難しい。トキのように。信頼のように。が、いつまでも損なわれることはありませんように。そしてい

## 空堀の端っこから

### 「マンション買おう!」



第18号  
(2010.05.20)

### 「空堀界隈をご散策される皆様へ」

◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。  
◆美しい石畳や木造家屋にコミは似合いません。  
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

つかは端っこから中央に進出。路地の住人「ロージスト」になって、このまちを守るお手伝いができます。(からほりサロン・マリーナ教室生徒 北原由美子)



## からほりさん News

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

### 【からほりさん】

- 懐かしいレコードを聴く会(第4月曜日午後1時半)
- 食事会(毎月第3木曜日12時~)  
楽しく食べませんか。参加費 500円。

### からほり伝言板

- かみなり亭寄席 ▶奇数月の第2土曜日午後6時30分~▶会場: 薬業年金会館▶出演: 笑福亭一門ほか。  
(有料) ▶問い合わせ: 06-6768-3549
- 講談「旭堂南海の何回続く会?」▶毎月第4火曜日▶午後7時~▶会場: 薬業年金会館▶木戸錢: 1,500円
- 中央区民すこやか健康ウォーク▶5月29日(土)  
▶集合: 教育塔(大阪城公園内) ▶8時30分受付

### ■読み聞かせの会

毎月第2水曜日、第4水曜日  
講師: プロで活躍された、にしみつこさん。声を出して表現する楽しさを味わって下さい。

### ■マイケアプラン学集会

毎月第3火曜日。午後2時~

### ■みんなで集うコンサート

▶5月22日(土)▶ドーンセンター▶開演1時30分▶マリンバ演奏▶プログラム: 星影ワルツ、港の見える丘、川の流れのよう、おぼろ月夜など

▶9時30分スタート

- 「博士の愛した数式」上映会▶6月20日(日)
- ▶会場: 大阪市中央会館▶1時30分上映▶無料
- ▶中央区社会福祉協議会・HANDSちゅうおう

楓ギャラリー [www7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/](http://www7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/)  
買い物は空堀商店街で

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願つて作つてている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおしゃつてくださるお店も大募集。「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

### 特定非営利活動法人 高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポート(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

(おとうふ屋さんのおとなり)

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~15:00)

E-mail: [odekake@helen.ocn.ne.jp](mailto:odekake@helen.ocn.ne.jp)

ホームページ: [www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/](http://www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/)

☆編集後記  
◆上海万博福祉館と市内交  
通パリアフリー状況など、視  
察と体験に行つてきます。  
(山名)

◆実は東村山、ボクの住んで  
るすぐ近くには「空堀川」と  
いうキレイな小川がありま  
す。(高田)

◇冷蔵庫に玉造うりの種を  
保管し連休明けにぬるま湯  
で水浴し植えつけました。ガ  
イド本に沿つたのですが…。  
◆最近、経皮毒の恐さを知ら  
れた皮膚から入つてくる  
という意識して気をつけた  
い。(矢)

◇空堀はいつ歩いても発見  
されたり、皮膚から入つてくる  
という意識して気をつけた  
い。(矢)

### マリンバを楽しめませんか?

毎週木曜日「からほりさん」で教室をしています。  
見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。

指導: 北口 桂

### 食べ処 各み処 おそうざいの店

島 やん

谷町6丁目12-8 TEL 6762-9288

営業時間: PM5:00~11:00(定休日: 月曜日)



## 手にからほり雑見ニュー

新規  
オープン店

1

**着物大好き!  
リサイクル きもの・帯**

☎06-6761-5291(年中無休)

新規  
オープン店

2

**野菜中心の自然派料理  
ナチュラル総菜カフエ  
ベジ卓**

☎06-6767-5580(毎水曜定休)

間口一間ほどのか  
わいい和装小物の店  
が4月にオープンし  
た。

店の前には小ぶりな  
下駄やぞうり、雪駄  
が並ぶ。袋物や籠製  
のバッグ、着物地の  
扇子と櫛と小さな手  
鏡のセットなどもあり、  
母の日などのプレゼント  
に喜ばれそう。壁には琵琶が飾  
られている。



入った畳敷きの鏡の  
前では、着付けもで  
きる。

ここまでは表の面。  
長年培われた着物に  
対する愛着は、法隆  
寺の安堵町と広島・因島のしまなみ街道  
これまでは表の面。  
るとか。

が、すつきりとした  
歴史を後世につなご  
うと展示をされてい  
るところが願いと。  
に着物美術館を開設、  
いつか空堀商店街  
でも、着物姿の買い  
物客で賑わう日が来  
ることが願いと。

「カラダとココロに  
優しい料理」がコン  
セプト。ランチセッ  
トは、もちもちの玄  
米ご飯にみそ汁・総  
菜3種がついて850円。  
いずれも丁寧に作られたといふこ  
とが感じられる。

店内には、こだわ  
りの野菜や食品が並  
べられ、スイーツや  
総菜もテイクアウト  
できる。食べた後すぐ  
に帰らず、じつく

昨年11月オープン。り見るのも楽しい。いう心意気がうれし  
こじんまりしている。抹茶を使つたプリ  
ンは「おまつちやま」安心して食べられ、  
インテリアで落ち着  
ちゃんとしたものが食べたいという人  
にはぴったりのお店。

トは、もちもちの玄  
米ご飯にみそ汁・総  
菜3種がついて850円。  
いずれも丁寧に作られたといふこ  
とが感じられる。



からほり新聞は地域を愛するコミュニティ紙です。皆様からのご意見やご感想、思い入れたっぷりの投稿をお待ちしています!

## 快傑!からほり人

## 快傑ファイル其の十六

「こんぶ土居」店主

土居成吉さん

『美味しんぼ』(第77巻の日本全国味巡り・大阪編)に、老舗昆布屋「こんぶ土居」の店主として登場するのが土居成吉さん。大阪に来たら空堀商店街にある「こんぶ土居」に行きたいと、遠方からお客様が足を運んで来ていました。昆布の話から食育や環境のことまで、成吉さんとの会話を楽しみにしている方も多いのです。

創業以来百有余年、東は松屋町筋から西は上町筋までの道幅約6m、東西約800mに及ぶ空堀の商店街に店を構えていた「こんぶ土居」。その3代目店主の土居成吉さんは化学調味料を使う食のあり方を問い合わせる「おいしさ」の元に、安全と安心があるとの思いから、時代にあつた便利な本物を販売やすい価格で作ること、消費者に正しい情報を伝えることに力を注いでいます。

今、土居さんが懸念しているのは、空堀の風情ある町家が壊され、マンションの建設がすすめられていること。歴史と伝統

のある商店街は後世に残さなければいけないと、強く思っています。土居さんの考える地域貢献を担う人達には3種類あります。1番目は町会や商店会の世話役、2番目が街づくりの活動をしてきました。「おいしさ」の基本を守った食品づくりをはじめ、安全と安心があるとの思いから、時代にあつた便利な本物を販売やすい価格で作ること、消費者に正しい情報を伝えることに力を注いでいます。

いい建物をつくれば環境にも役立つので、店のフローリングは松のムク材(厚さ3cm)でワックスは自然油。腰板は杉で塗装はベンガラ・柿渋・炭の混合、壁は土佐漆喰。陳列台は祖父の代からのものを大切に使っています。そして、包装紙には国産材パルプ70%使用の紙を使用しています。

空堀にはちょっと一休みできるところが少ないので、買い物や散策に疲れたお年寄りが腰掛けたり井戸端会議ができるように、店の角に2つの木の切り株のイスを置いたり、外壁に掲示板を設置したりして、憩いの場を提供しています。

商店街に賑わいを取り戻すには、お客様に店に足を運んで供しています。

土居さんは、「大阪の食文化を

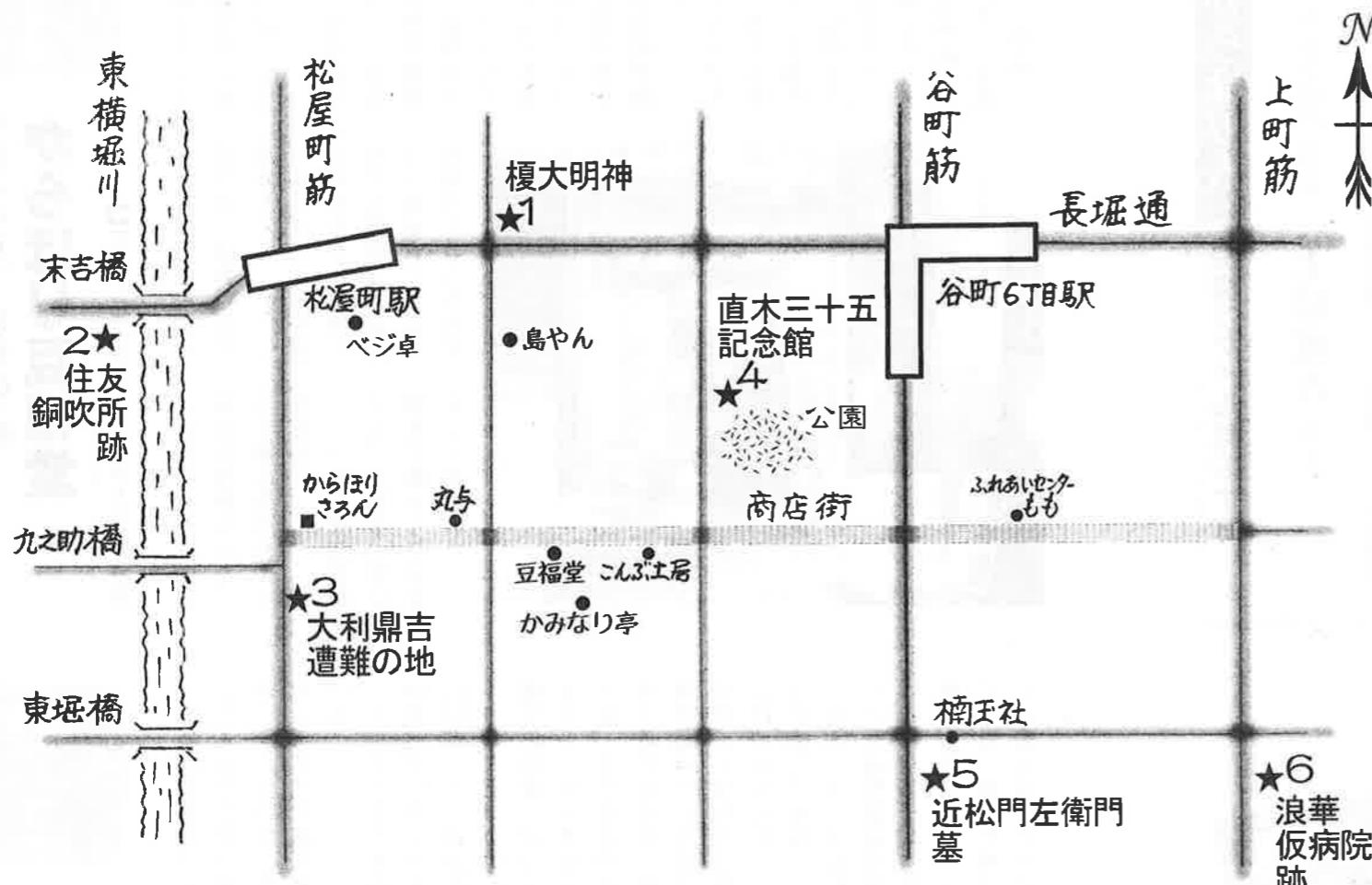


# からほい界隈お散歩MAP

## 其の15 空堀の史跡めぐり

今回は空堀から少し離れて、周辺の史跡をめぐってみました。熊野街道が空堀を通っているのはご存知と思いますが、江戸時代や明治初期にオランダ人が歩いていたことは知られていないと思います。

江戸時代初期に開かれた住友銅吹所は、シーボルトも見学したほど有名でした。明治二年、浪華仮病院に招かれたボーディンは、診療と講義を二年間受け持ちました。その時の住まいが中寺一丁目の法性寺。当時の空堀の人たちは、オランダ人どのように接していたのか、想像するのも楽しいものです。（千萬多津子）



6 浪華仮病院跡（大福寺内）

明治2年、緒方洪庵の息子惟準を院長として開設。彼はかつて長崎で医学を教わったボーディンを主任教授として招いた。現在の大坂大学医学部の前身である。



5 近松門左衛門墓

近松の墓は以前、法妙寺境内にあったが、昭和42年の谷町筋拡張工事で寺は大東市に移転。大阪市の史跡に指定されていた墓だけが残された。



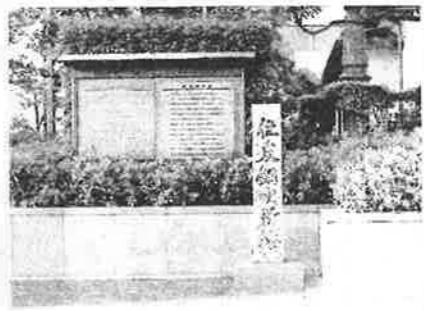
4 直木三十五記念館(萌の2階)

直木は1891年、安堂寺町に生まれ「南国太平記」で流行作家になるが43歳で病没。翌年、直木賞が制定された。記念館は直木の母校旧桃園小跡隣に05年開設。



3 大利鼎吉遭難の地

1865年、土佐藩浪士の大利が新撰組に斬殺された。新撰組屯所は下寺町の万福寺にあり、大利の潜伏先がせんざい屋だったので、「せんざい屋事件」と言った。



2 住友銅吹所跡

江戸期、日本は世界有数の銅の産出国。住友銅吹所は日本最大の銅製錬所で、国内生産量の1/3を精錬。輸出用の銅は全て大坂で精錬され、長崎へ送られた。



1 榎大明神

熊野街道は、天満橋の八軒家から南下。旅人は目印だった「榎大明神」の手前で東へ折れ、谷町筋を越してから再び南へ向かい、四天王寺めざして歩いて行った。